

バレーボールのまち貝塚

あたく

発行：貝塚市
 編集：バレーボールのまち推進会議
 事務局：貝塚市教育委員会
 教育部 社会体育課
 TEL：072-433-7121
 FAX：072-433-7122
 MAIL：shakaitaiku@city.kaizuka.lg.jp
 平成19年12月26日発行

貝塚市はこんなまち

貝塚市は、大阪の都心部と和歌山市のほぼ中間に位置している人口約9万人の都市です。千本搦きで賑わう名刹の「水間寺」や国宝の観音堂（釘無堂）を有する「孝恩寺」があり、「願泉寺」を中心に形成された寺内町の街並みなど、歴史の香りあふれる都市です。



水間寺



二色の浜公園

太鼓台やだんじり祭りなどの伝統行事を受け継ぐとともに、つげ櫛などの伝統産業、近代以降に発展した繊維・ワイヤロープといった地場産業など、独自の文化と産業を持っています。細長い市域の中に、大阪湾に抱かれ白砂青松がまぶしい「二色の浜（にしきのはま）」や、本州南限圏の天然記念物ブナ林を育む「和泉葛城山（いずみかづらぎさん）」など多様で優れた

自然環境を有する都市でもあります。

また、本市のバレーボールとの関係は古く、昭和39年の東京オリンピックで金メダルを獲得した全日本女子バレーボールチーム「東洋の魔女」の中核をなした、ニチボー貝塚のホームタウンとして、古くから市民にバレーボールが浸透し、愛され、市民のアイデンティティとして「バレーボール」がありました。しかし、「バレーボールのまち」の中核をなしていた、ニチボー貝塚の後身であるユニチカバレーボールチームが廃部となり、平成12年に東レ（滋賀県）へチームごと売却され、貝塚市での46年間の歴史に幕を閉じました。



東洋の魔女

そのことが人々の思い出からも薄れようとしていた時、平成15年4月、世界を制覇した日本バレーボールの栄冠を取り戻すため、東洋の魔女発祥の地ユニチカ体育館に、日本バレーボール協会によりJVA貝塚ナショナルトレーニングセンターが設置されました。このように本市は、バレーボールと関わりが非常に深い都市です。

バレーボールのまち 貝塚推進会議

貝塚市は、平成16年度にバレーボールを活かしたまちづくりの推進を図ることを決定し、平成17年度からは、市役所内の組織である「バレーボールのまち貝塚推進会議（以下推進会議）」を設置しました。推進会議には、まちづくり推進部会、広報・啓発推進部会、全国

中学生大会推進部会の3つの部会があります。まちづくり推進部会では、「バレーボールのまち」にちなんだロゴ・標語を公募し、最優秀作品を公式ロゴ・標語として、貝塚市の封筒や名刺に活用。広報・啓発推進部会では、バレーボール広報「あたく」の発行、ホームページの作成。全国中学生大会推進部会では、全国道府県対抗中学バレーボール大会の運営を行ないます。

推進会議では、さまざまな人々が交流する、バレーボールを活かしたまちづくりを進めています。

バレーボールのまち貝塚ロゴ・標語



貝塚市は、関西国際空港を応援しています。

小学生バレー ボール教室

日本バレーボール協会から、「貝塚ナショナルトレーニングセンターに對しても協力していただいている貝塚市にお礼をこめて、バレーボールの普及のために小学生バレーボール教室に協力したい」との申し出がありスタートすることとなりました。

5・6年生を対象に1期



小学生バレーボール教室

3期の計18回実施しており、参加している子どもほとんどがバレーボール初心者です。「友達に誘われた」「何かスポーツがしたかった」「親に勧められて」など、最初はバレーボールにあまり興味がなかった子どもも、もともと上手になりたいからバレーをしたいと、教室外でもバレーボールをするようになりました。年齢・学校に関係のないチーム対抗でゲームをし、負けたときは皆でくやしがり、勝ったときは皆で勝利を分かち合い、バレーボールを楽しんでいます。バレーボールを通じて友達を作ることの大切さや何事にも頑張れる心を持てるようにと指導しています。本事業から、地域で小学生のバレーボールクラブが生まれ、バレーボールの裾野が広がるようすすめています。

全日本女子チーム



全日本女子紅白試合

全日本女子チームが、トレーニングセンターで合宿を行なっている通常練習は非公開です。

しかし、市民から見学の希望は多く、その要望にこたえるため、貝塚市立総合体育館で年間2回程度公開練習や紅白試合の開催などを実施しています。

平成19年度も、7月17日(火)には公開練習を開催。さらに10月16日(火)には貝塚紅白試合を開催しまし

た。特に10月に開催された貝塚紅白試合では、ワールドカップ2007の直前ということもあり、2000人と多くの観客が来場し、観客の見守る中、力のこもった紅白戦を披露してくれました。

また、紅白戦終了後、ワールドカップ2007にむけての貝塚壮行会が実施され、選手の皆さんは、大会への意気込み、活躍を誓われました。

バレーボール全日本 サポーターズクラブ 連絡会

平成15年9月に、3つのバレーボール全日本サポーターズクラブ(貝塚市体育協会・バレーボール連盟・貝塚市職員)が誕生し、翌年4月、3つのサポーターズクラブの連携をはかるため、サポーターズクラブ連絡会が結成されました。

貝塚市歴史展示館

連絡会では、アテネを目指す全日本女子へのカンパ活動、エキシビジョンゲームの開催、テレビ観戦会、アテネ出場全日本女子見送り会、北海道芦別市サポーターズクラブとの姉妹提携、NTドリームス激励会・交流会などを行ってきました。今後も、全日本バレーボールチームやNTドリームスの活動を積極的に支援していきます。

昭和10年に建てられた大日本紡績株式会社(旧ニチポー・現ユニチカ)貝塚工場の事務所を展示館として改修したもので、平成17年に開館しました。館内には2室の展示室を設け、貝塚市の歴史やニチポー貝塚バレーボールチームの歴史について展示しています。是非お立ち寄りください。

JOCジュニアオリンピックカップ 第21回全国都道府県対抗中学バレーボール大会

女子の部 競技日程・コート割当て

会場	大阪府立体育会館第1競技場				大阪府立体育会館第2競技場	
コート	A	B	C	D	E	F

《女子予選》

12月24日(月)	2 14:00	高知VS茨城	静岡VSドリームス	青森VS島根	山形VS群馬	三重VS広島	鹿児島VS秋田
	3 15:00	大分VS栃木	山梨VS岡山	愛知VS富山	岐阜VS沖縄	香川VS千葉	和歌山VS岩手
	4 16:00	北海道VS東京	奈良VS長崎	長野VS山口	埼玉VS鳥取	石川VS愛媛	

《女子予選 女子決勝トーナメント》

12月25日(火)	1 9:30	島根VS福岡	秋田VS京都	広島VS大阪北	ドリームスVS石川	茨城VS滋賀	群馬VS熊本
	2 10:30	富山VS佐賀	岩手VS神奈川	千葉VS大阪南	岡山VS福井	栃木VS福島	沖縄VS新潟
	3 11:30	山口VS宮崎	静岡VS愛媛	高知VS滋賀	長崎VS宮城	東京VS兵庫	鳥取VS徳島
	4 12:30	三重VS大阪北	山形VS熊本	大分VS福島	鹿児島VS京都	青森VS福岡	山梨VS福井
	5 13:30	香川VS大阪南	岐阜VS新潟	北海道VS兵庫	和歌山VS神奈川	愛知VS佐賀	奈良VS宮城
	6 14:30	1組1位VS16組2位	16組1位VS1組2位	2組1位VS15組2位	埼玉VS徳島	長野VS宮崎	15組1位VS2組2位
	7 15:30	3組1位VS14組2位	14組1位VS3組2位	4組1位VS13組2位	13組1位VS4組2位	5組1位VS12組2位	12組1位VS5組2位
	8 16:30	6組1位VS11組2位	11組1位VS6組2位	7組1位VS10組2位	10組1位VS7組2位	8組1位VS9組2位	9組1位VS8組2位

会場	貝塚市立総合体育館		
コート	K	L	
12月26日(水)	1 9:30	女子2回戦	女子2回戦
	2 10:30	女子2回戦	女子2回戦
	3 11:30	女子2回戦	女子2回戦
	4 12:30	女子2回戦	女子2回戦
	5 13:30	女子3回戦	女子3回戦
	6 14:30	女子3回戦	女子3回戦

会場	大阪府立体育会館第1競技場		
コート	B	C	
12月27日(木)	1 9:30	女子準決勝	女子準決勝
	コート	特設コート	
	3 12:30	女子決勝	



第20回(昨年度)全国都道府県対抗中学バレーボール大会

貝塚市では、大会第3日目女子大会の部決勝トーナメント2回戦、3回戦が開催され、体育館に1200人と多くの選手・保護者・関係者の来場がありました。昨年の様子を写真で紹介します。



熱の入った応援



白熱したプレー



大好評だった豚汁コーナー
今年は焼そばコーナーもあるよ



おいしい豚汁で心も体もほっかほか

JOCジュニア

オリンピックカップ

第21回

全国都道府県対抗

中学バレーボール大会

主催 (財)日本バレーボール協会・読売新聞・報知新聞

主管 第21回全国都道府県対抗中学バレーボール大会実行委員会

後援 文部科学省・(財)日本オリンピック委員会・(財)日本中学校体育連盟・大阪府・大阪市・貝塚市・大阪府教育委員会・大阪市教育委員会・貝塚市教育委員会・読売テレビ
協賛 全日本空輸株式会社・丸大食品(株)
オフィシャルサプライヤー (株)アシックス
オフィシャルボール (株)ミカサ・(株)モルテン
協力 トップツアー(株)



将来のオリンピック選手

の発掘と中学生バレーボールのレベルアップを図り、各チームとの交流を通して友情を深め、スポーツマンシップの高揚に努めるとともに、中学生指導者の研修の場とすることを目的としたこの大会は、平成19年12月24日(月)〜27日(木)の4日間、大阪府中央体育館、大阪府立体育会館、貝塚市立総合体育館の3会場で開催されます。

大会は、都道府県代表男女各47チーム、開催地代表(大阪)男女1チーム、(財)

日本バレーボール協会より特別に推薦されたチーム(N.Tドリームス)の男子48チーム、女子49チーム、合計97チームで競われます。

試合は、3セットマッチ(全セット25点ラリーポイント)とし、予選リーグの各ブロックの1・2位が決勝トーナメント戦に出場するといふものです。昭和62

年より行われているこの大会は、全日本男子の山本隆弘選手(第7回出場)や、

越川優選手(第13回出場)、女子

の菅山かおる選手(第7回出場)

や荒木絵里香選手(第13回)など

の有名選手を輩出して

いる非常に歴史のある大会です。

貝塚大会

12月26日(水)

貝塚市では、貝塚市立総合体育館で、女子決勝トーナメント2回戦、準々決勝(3回戦)の12試合が午前9時から午後3時半まで行われます。

貝塚大会は、「バレーボールのまち貝塚」を標榜している貝塚市に賛同した団体で組織された実行委員会(会長 塔筋 覚さん)を

中心に、貝塚市立総合体育館で試合を行うチーム・関係者を歓迎し、大会が円滑に進行できるようサポート

します。また、

大会会場では、豚汁・焼そば・コーヒール等の無料配布コーナー、市内企業による特産物の販売コーナー、貝塚でしか手に入らないベスト16出場記念のタオル・スラップ・キーホルダーの

販売など様々な企画を予定しています。ぜひ歓迎コーナーや物産展コーナーへもお立ち寄りください。

また、

また、

